

タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和7年6月14日(日) 午後2時～3時30分

場 所 コスモスホール

参加者 55人



主な意見等

-
- 1 北野集会所の前の一通道路は通学路になっていますが、主に夕方に車が猛スピードで駆け下っていきます。小学校周辺は対策が施されているようですが、集会所前の危険度は変わりないと思っています。未来ある子どもたちの命をぜひ守ってください。
-

(市長)

実情は認識しており、警察等とも話し合いを重ねています。一方通行というのは速度が上がってしまう傾向にあります。スクールゾーンの設置となると、周辺にお住いの方々の利便性を考慮しご理解もいただかなければなりません。速度超過等については、今後も継続的にしっかり取り組んで考えていきたいと思っています。

- 2 旧東和銀行の跡地は何になる予定ですか。
-

(市長)

今までコインパーキングだったところですが、そこは市が所有している土地です。通りの拡幅工事のために、埼玉りそな銀行の店舗に下がっていただくということで、仮店舗建設のための土地になっています。

- 3 新店舗が建て替えられたら、仮店舗は壊すとなると少しもったいない気もしますが。
-

(市長)

仮店舗を壊すのはもったいないような気がします。現在の建物もかなり老朽化しているため、県道の拡幅にもご協力いただきながら、埼玉りそな銀行の事業として店舗の建設を行うための仮店舗となります。

4 三井住友銀行の跡地は何になる予定ですか。

(市長)

敷地については売却していくとのことです。それに伴って三井住友銀行さんと交渉させていただいているところです。

5 少子化の中で子どもが生まれてからの対策を行っていますが、その前に結婚しないと子どもが増えていけないと思います。マンションがたくさん出来て若い方々は入ってきてくれるとは思いますが、育てやすいというのは前提として、若い方々の収入がという問題もありますが、結婚しやすい環境づくりについてはどうお考えですか。

(市長)

かなり難しいご質問だと思いますが、どうしても今、若い方々の多様な考え方や価値観があり、個々人の価値観に沿っていくのは困難な状況です。ただ、その中で結婚しようという意思のある方々には、それに結びつくような手立てというのはあると思います。これまでも地元で結婚してもらえるように商工会と協力してイベントを行ったりもしました。

産前産後のケアについては、以前から力を入れて取り組んでいます。家族連れに入居してもらうためには、周りの施設や環境が大切です。若い世代を流入させるような、そのことによって今まで頑張ってきた世代を支えていけるような街づくりは必要だと思います。ただ、その根本にある「結婚」については、なかなか難しいところがあるのかなと思います。

6 ステラ・ウェストで「第九」を行う予定だと思いますが、皆さんに広く周知するためにも、20周年の記念イベントなので市民参加のイベントだけではなく、有名な方を呼んだりして、力を入れていくべきだったのではないのでしょうか。

(市長)

それも一つの方策だと思います。以前 NHK 交響楽団の方々がいらした時に、非常に音響効果が良いとお褒めの言葉もいただいております。ご提言いただいたように有名な音楽家などをお招きする形のイベントも今後行っていけたらよいと思います。文化協会や音楽家協会にご意見があったということをご共有していきたいです。

7 先日、自転車講習を受け、自転車の運転には沢山ルールがあることを知りました。このルールをどれだけの人が知っているのか疑問に思います。ルー

ルを知らない人がいきなり赤切符を切られても、納得がいかないと思います。また、自動車の横を通るのが怖い道路も多いので、どうにかできないでしょうか。道路や交通ルールの周知について、警察と市で協力して考えてほしいです。

(市長)

自転車の道路交通法改正以前のルールでさえ、知らない方が多いと思います。危険回避のため罰則が強化されますが、いきなり切符を切られても納得がいかないという点に関しては、おっしゃる通りです。ルールを周知して、多くの方に知っていただくのは非常に重要なことだと思います。今後、警察の方にご指導いただきながら、考えていきたいと思っています。

-
- 8 上福岡駅を降りたところに、市役所や公共施設などが分かるような案内図を設けていただきたいです。

(市長)

現在西口には設置しており、東口にも看板や地図などの案内図を今年度の予算で設置する予定です。

-
- 9 市内の小中学校の防犯対策について、防犯マニュアル等はあるのか、どのようにされているのか伺いたいです。学校は地域に開かれているべきという側面もあるので難しいとは思いますが。

(市長)

各小中学校では、防犯マニュアルを整備して、刺股などを用意しています。防犯については防犯カメラが設置されており、職員室で確認できるようになっています。

開かれた学校づくりというのが推進されていますが、不測の事態に備えた対策を行っていきます。これまで以上に検討していかなければいけない課題だと思うので、いただいたご意見を教育委員会にもお伝えしたいと思っています。

-
- 10 川崎の調整池について、かなりの面積があり普段は水がないと思います。他の市の事例では、調整池の底にテニスコートなどを整備して普段は利用し、災害時には水を入れるといったところもあるようです。葦原中学校は2面しかコートがなく、テニス部が苦勞しています。葦原中学校の隣に位置しているので、何か有効に活用するようなお考えはありますか。

(市長)

現時点で、水が入っていない状態での活用は未定です。技術的な観点で申し上げると、河川のすぐ横であり、元々田んぼを掘り下げているため、水を貯めていないときも湧水が出てくるような土地になっているようです。ただ、活用できれば、学校に隣接しているので素晴らしいことだと思います。活用

の可否については 現地を見て考えていきたいと思います。

-
- 11 254 バイパスにできた物流センターは、インターチェンジから遠いところのように思います。なぜそこに建てられたのでしょうか。また、今後の暑さについて、高齢者は「できるだけ我慢しよう」という教育で育ったため、エアコンをなかなか使いません。昨年も亡くなられた方がいたかと思いますが、電気代の補助金の他に何かうまい方法があれば教えていただきたいです。
-

(市長)

254 バイパスの企業誘致で物流倉庫の建設が進められていますが、土地の買い上げから建設に関しては、民間事業者の方で行っています。市では開発行為に対する指導や、誘致を促すことを行っています。物流倉庫については、民間事業者がマーケティング調査を行った上で、あの周辺が物流倉庫の設置に適しているというデータがあり、進められているようです。

危険な暑さに対する対策については、積極的にエアコンを使用していきたいというのが一番です。行政としても、エアコンの利用について促していきたいと思います。暑さを感じにくくなっている方も含めて、地域の方々にもご協力いただき、ご高齢の方の命を守る方策は進めていきたいと思います。

-
- 12 消火器について、現在交換するものに関しては補助金を貰って設置していますが、評議員に配っている消火器については補助金が出ていません。大原地区は道路が狭く消防車が入れないことがあるため、出来るだけ消火器を増やしていきたいと考えています。予算を組んで配布していますが、その負担がかなり大きいです。そのため、交換だけでなく、新規に設置する消火器についても市からの補助金をつけていただけないでしょうか。
-

(市長)

新規設置分の補助については、どのようにできるかを含めて検討させていただきます。

-
- 13 上福岡図書館を利用していますが、以前は軽食を食べられるところがあり、図書館利用後に友人と軽食を取ることができて良かったのですが、新しくなってからは無くなってしまいました。飲み物は自販機があり飲めますが、友人と軽食を食べたい時や会話をしたい時に、近くにもそのようなお店が無いので残念です。
-

(市長)

以前図書館にあった軽食コーナーを運営していた事業者の方が規模を縮小したいとのことで、撤退されてしまいました。障がい者支援の一環で行っていた施設でしたが、ご都合により撤退されてしまったという経緯があります。

飲食につきましては、くつろぎスポットや天気の良い日でしたら外のテラス席でも飲食が可能ですので、ぜひご利用ください。

-
- 14 上福岡駅前、上福岡一丁目周辺の客引きをなんとかしてほしいという思いが非常に強くあります。仕事帰りの 20 時、21 時頃になると駅前に 10 人以上の客引きがいて毎回声をかけられるのが不愉快で、引越しを考えるほどです。以前の話では、敷地内は規制できないとのことでしたが、明らかに道路に出ていますし、道を塞いでいます。川越市でも客引き防止の条例が今年 4 月から施行されました。そういったことが同じようにできるのであれば、条例やポスターなどで多少防止になるのではないのでしょうか。検討をお願いできればと思います。

(市長)

確かに以前にも申し上げた通り、縁石より内側の敷地内に立っているケースに関しては、違法ではないため対策が難しいところですが、道路に出ているのは話が別です。埼玉県条例などでも、道路で何メートル以上一緒に付いて回るような声かけ等に対しては規制があるようです。以前に比べて、柄が悪くなったという声も聞くようになりました。行政として条例設置や罰則などの規定を設けられるかなど改めて検討していきたいと思います。

-
- 15 小中学校ではプールの授業を外注していますが、施設数が限られているので学校によっては真冬に行くところもあるようです。バスをチャーターするなど先生方の負担も多くなっていると聞いています。年に数回しか授業がないのに、そこまでしてやる意味があるのか疑問です。世の中には、プールを廃止して授業自体をなくしてしまうところもあると聞きました。数回やっただけでは泳げるようにならないですし、コストなどを考えると、プールの授業を廃止して他の部分に費用を回してはどうかと思うのですがどのようにお考えでしょうか。

(市長)

おっしゃっていることが、民間スイミングスクールなどを使い始めた原点です。学校が週休二日制となり、授業の時間が制約されました。学校のプールを使用していた時も授業のコマ数は少ないのに維持費がかなりかかっていました。それなら民間に委託したほうが良いと考えました。また、リスク分散という意味でも民間事業者によっては経営破綻する可能性もゼロではないので、構想として 18 校のプールをエリアごとに順次解体していく必要があると考えています。その跡地について、学校スペースとして活用していくのか、近隣のために活用するのも考えていかなければなりません。

プール授業の要否についても、真剣に考えていく時期だと思っています。

学校プールを使用していた時の方が、プールの水抜きや管理など、先生方の負担は大きかったと思います。学校プールの維持費がかかりすぎることから民間事業者を使い始めたというのが実態ですが、お話しいただいたご提案を教育委員会に伝えさせたいと思います。

- 16 市内の中学校に関して、学区外への通学を認める条件として、部活動での越境があったと思いますが、これを無くしていくべきではないでしょうか。部活動に関しては、先生方の負担が問題になることで地域移行が進む傾向にあり、学校に部活動があるところが少なくなってくると思います。そうなる部活動を理由に転校せずに、クラブチームでいいのではないかという話になります。また、部活動を理由にした転校は、学校の生徒数の配置に大きくずれが生じ、学校運営に支障が出ると思います。条件に当てはまる人だけの優遇措置になってしまうので、廃止してほしいのですがどのようにお考えでしょうか。
-

(市長)

おっしゃる通り部活動を理由として指定校変更できる制度があります。しかし、別の学校に行きたいから部活を理由にしているという側面も否めません。制度の利用方法によっては、違う使い方もできてしまう運用はいかなるものかと感じています。ただ、その制度をきちんと利用して子どもたちの選択肢を増やしてあげるという趣旨は、尊重しなければいけないとも感じています。子どもの活動が制限されない範囲内で制度について考えていく必要があると思うので、貴重なご意見として教育委員会に伝えさせたいと思います。